

伊達市議会だより

Date city Assembly

vol. 37 議会広報委員会
2015.2.12

- 議長年頭のあいさつ ②
- 一般質問 ②
- 12月定例会審議議案 ③
- 議員定数中間報告 ⑨
- 委員会視察研修報告 ⑩



震災復興のシンボルとして `元気発信、

昭和の時代、福島交通軌道線（チンチン電車）は総延長53^{km}に及ぶ軽便鉄道として当時、日本の花形産業だった製糸業と養蚕が盛んな信達地方を結びつけ、戦前戦後を通じて主要な交通機関として教育や文化、産業、経済などを「けん引」する重要な役割りを果たしてきました。

チンチン電車「1116号」は、昭和46年の廃線後、保原体育館脇でひっそりと風雨にさらされていましたが、そのチンチン電車を震災復興のシンボルにしようという修復保存プロジェクトが現在進行中で、復活に向けて内外装の修復がなされています。

多くの市民が思いを込め、地域の賑わいを象徴したチンチン電車。その雄姿を通して地域に、そして何よりも将来の伊達市を担う子どもたちに、元気を発信してくれることは間違いありません。

チンチン電車は地域の賑わいを象徴した輝きを復活させ、今年の春に戻ってきます。

年頭のあいさつ

伊達市議会議長 安藤 喜昭



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には日ごろより、市議会に対してご支援とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、早いもので東日本大震災及び原発事故からまもなく4年になります。この間市政においては、復旧から復興への取り組みを最大の目標に進んできたところであり、梁川小学校の校舎建設や保原、梁川地域に設置する屋内遊び場の工事が順調に進んでおります。

また、私たちの生活に大きな影響を及ぼしている放射能災害への対策としてCエリアのフォローアップや

個人線量の測定、全市民を対象とした内部被ばく検査が実施されています。

しかし、風評被害の払拭や経済の立て直しなど課題も多く、引き続き復興計画を着実に推進し、本市を安心と活力で潤うまちに再生させていくことが求められております。

このような中、復興支援道路である東北中央自動車道については、平成30年開通の見通しが示され、本市の復興と成長をさらに加速させることが期待されます。

市議会としましては、合併10年目という節目を迎え、復興を確実なものとするため、市民の皆様の声を十分にお聞きしながら、議員一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

市民の皆様には、今年一年が幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

12月定例会

一質問では12人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

一般質問と質問項目

一般質問議員と質問項目

■12月2日登壇

小野 誠滋 議員

1. 農業振興対策について
2. 伊達地方衛生処理組合の仮設焼却炉進捗及び対応について
3. 八幡神社整備工事について

佐々木 彰 議員

1. これからの学校給食センターについて
2. 誘客事業の連携について

佐藤 清壽 議員

1. 平成26年産 米価大暴落について
2. 「子どもたちのためのリフレッシュ事業」開催への伊達市立保原小学校使用許可について

中村 正明 議員

1. 市民が望む除染なくして未来なしについて

近藤 真一 議員

1. 復興に関わる諸問題について
2. 市役所の臨時職員（非正規労働者）について

■12月3日登壇

菅野 喜明 議員

1. 米価の大幅下落に対する農家への支援について
2. 伊達市のふるさと納税について
3. 伊達市の復興をめぐる諸問題について
4. 伊達市の交流館について
5. 旧特定避難勧奨地点地区への施策について

■八巻 善一 議員

1. 平成27年度に向け新たな自治組織のスタートについて
2. 伊達市の人口減少対策について

■半澤 隆 議員

1. 行財政改革の取り組みについて
2. 市民の行政ニーズに対応する事業の実施について
3. 伊達市・東京会（仮称）の設立について

■高橋 一由 議員

1. 放射能被災関連事業等について
2. 各中学校にランチルームつきの給食センター建設をについて
3. 伊達地区認定こども園について
4. 地域医療の充実強化について

■丹治千代子 議員

1. 子どもたちのためのリフレッシュ事業について

■12月4日登壇

■佐藤 直毅 議員

1. 使用済小型家電の回収とリサイクルについて
2. 学校給食センター建設事業について
3. 元気づくりシステムモデルと健康ポイントについて

■菊地 邦夫 議員

1. 市有財産の効率的活用（ファシリティマネジメント事業）について
2. 伊達市の図書館運営について
3. 市民ホールについて
4. 保原中央交流館、市民センター、体育館周辺整備事業について

■伊達市の農業振興対策について



小野 誠滋 議員

興など、多くの課題があります。市の今後の取り組み、対応について伺います。

Q 米の低価格化をはじめ、風評被害による農産物の価格低迷など、農業を取り巻く現状は厳しいものがあります。担い手の育成、農業者の高齢化、遊休農地の活用、中山間地の農業振

A 市は現在、県やJAなどと連携して、遊休農地対策として、担い手の利用権設定等促進事業、農地中間管理事業などの活用による農地の集積、集約、さらに中山間地域直接支払制度、多面的機能支払交付金制度などを積極的に推進、活用し、遊休農地の予防、解消に取り組んでいます。担い手対策としては、農地の集

積と新規就農者の所得確保のための事業を展開しています。また、新規就農者の育成については、就農後の定着を図るために就農前後の所得確保と農業研修が重要であると考えています。関係機関と連携し、担い手の支援と確保に取り組めます。

平成26年第7回伊達市議会定例会は11月27日に招集され、12月16日までの20日間の会期で開催されました。市長から提案された案件は、専決処分報告1件、専決処分の承認2件、人事1件、条例制定4件、条例改正9件、条例廃止4件、補正予算6件、その他7件の計34件でした。これらの案件は所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案の通り可決、承認しました。

また、議員発議による条例改正1件、委員会発議の意見書1件についても、原案のとおり可決しました。

■条例

■今後の学校給食センターについて



佐々木 彰 議員

計委託などの事業が予定されています。現在の進捗状況と今後の進め方について質問をします。

Q 今年度当初予算では、保原、梁川両学校給食センターを統合し、調理能力5500食程度の共同調理場を建設するために、平成26年度事業として建設予定地の決定、用地取得、基本設

A 今年度は用地の取得、基本設計などを計画しており、用地取得のめどが立ち、今後基本設計、地質調査業務などを発注したいと考えております。その後のスケジュールについては、平成27年度には実施設計、用地造成工事と周辺道路整備工事に着手し、平成28年度に建築工事、調理設備などの設置を終了し、平成29年度の供用開始を目指し、新市建

設計画のスケジュールに沿って事業を進めたいと思っています。

●伊達市伊達氏ゆかりの公園条例
梁川八幡神社周辺整備事業に基づき広場などの設置に関し、必要な事項を定める条例を制定しました。

●伊達市地域優良賃貸住宅条例
スマートウエルネスシティ整備事業関連の霊山町掛田地区都市再生整備計画に基づき、新設整備する掛田地区高齢者専用共同住宅の設置に関し、必要な事項を定める条例を制定しました。

●伊達市子ども遊び場設置条例
こども遊び場の設置に関し、必要な事項を定める条例を制定しました。

●伊達市立幼稚園保育料条例
子ども・子育て支援法の施行に伴い、市立幼稚園の保育料徴収規定を定める条例を制定しました。

●伊達市部等設置条例の一部を改正する条例
部の所掌する事務の所管替えに伴い、所要の改正を行いました。

■平成26年産米価暴落について



佐藤 清壽 議員

策生産奨励金を創設しまして、10アール当たり1万5千円の生産奨励金の交付を決めて、農家のやる気を促す支援を講じていますが、伊達市としての対策を伺います。

A 福島県は、米価下落に伴う稲作農家などに対して、再生産に必要な資金確保のため、平成26年稲作経営安定資金を創設し、無利子融資や低利の融資を行うこととしました。価格下落による影響が大きい農家には、制度利用を促していきたい。伊達市としては今現在、奨励金を支払う考えはありません。

Q 米価大暴落では農家より、市政、農協、国からの支援が求められております。大玉村では、子牛誕生祝金として、子牛1頭生まれると10万円の支援を、鮫川村では今年、米価下落対

はあります。

Q 伊達市は、放射能風評被害に加えて、就農者の高齢化、希望新規就農者の減少のさなかの米価大暴落であり、耕作放棄地が拡大する懸念があります。市として、風評被害も含めて、農家の基軸となる稲作に対して、国に米価支援を求めるべきと思います。が、考えを伺います。

A 国による需給調整を要望することや支援策を要望することについては、現在のところ考えておりません。11月25日に全国市長会としまして、新たな米政策に関し、米の価格安定を図るよう国に要望しています。

■市民が望む除染なくして未来なし



中村 正明 議員

Q 他自治体とかけ離れた、市民の声が反映されない一方向的な押し付けの除染ではないですか。

A 逆に周りの自治体が、なぜ伊達市のようにできないのか、伊達市の取り組みは適正な業務執行であると考えております。

Q 「子どもの未来を守る会」の方々が掲げられた看板をご覧になられたと思いますが、市長はどのような考えをお持ちですか。

A 放射能に対し不安を持っている人がいる、その現れ



Cエリアに設置されている看板

A 放射線防護、市民の健康を守るという立場と公約は、あまり関係ないと思います。

- 伊達市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例、及び伊達市教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
- 福島県人事委員会による職員の勤勉手当支給割合引き上げ勧告を踏まえ、市長などの期末手当支給割合を引き上げるため、所要の改正を行いました。
- 伊達市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 福島県人事委員会勧告に準拠し、民間給与との較差を埋めるため、世代間の給与配分の観点から若年層に重点を置きながら給料表の水準を引き上げるとともに、勤務実績に応じた給与の推進のための勤勉手当を引き上げるため、所要の改正を行いました。
- 伊達市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
- 福島県人事委員会勧告に準拠し、特定任期付職員の期末手当を引き上げるため、所要の改正を行いました。
- 伊達市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 産科医療補償制度及び出産育児一時金の見直しに伴う関係政令などの改正に伴い、所要の改正を行いました。
- 伊達市農林業関係センター条例の一部を改正する条例
- 農林業関係センターの7施設が交流館に移行したことに伴い、所要の改正を行いました。
- 伊達市営住宅等条例の一部を改正する条例
- 老朽解体が進み管理が不要となる市営住宅の用途廃止、並びに「子ども・被災者支援法」で定められた支援対象避難者を、優先的に市営住宅へ入居できる者として取扱うため、所要の改正を行いました。
- 伊達市立学校設置条例の一部を改正する条例
- 梁川認定こども園が開園することに伴い、梁川幼稚園を廃止するため、所要の改正を行いました。
- 伊達市堰本ふるさと会館管理条例を廃止する条例、及び伊達市農村集落多目的共同利用施設条例を廃止する条例
- それぞれの施設が交流館に移行したことに伴い、伊達市堰本ふるさと会館管理条例及び伊達市農村集落多

復興に関わる諸問題について



近藤 眞一 議員

応をしていくのか伺います。

A 環境省内において、中間貯蔵施設に運ぶための議論

Q 環境省は県内の学校で出た、放射性汚染土の中間貯蔵施設への搬入を検討するとして

いるが、市として、働きかけや要望など具体的な行動も必要ではないかと考えるが、どのような対

Q 放射性廃棄物の中間貯蔵施設への搬入方法に関して国の方針は確定していないが、輸送時の事故防止方法や、住民への

送時を事故防止方法や、住民への

交通安全対策など、国に対する要望をどのように考えているのか伺います。

A 本格的な輸送が始まる前に、パイロット（試験）輸

送があり、そういった諸問題について検討して進めていきます。フレコンバックも直轄市と伊達市の物では違いがあり、さまざまな状況を検証しながら幾つか提案しております。国の責任において、そういうことを実施していただきながら、安全を確保していきたいと考えております。

小国地区復興プランの中間要望について



菅野 喜明 議員

A 復興プラン実現のため

に、区民会と行政の役割分担と連携協働をどう進めていくか、協議を進めます。また、小国復興公社についての検討は前向きに取り組みます。外部から人と資金を持つてくることにしても、目的が達成されるように考えていただければ、市として柔軟に対応しますし、出資など必要があればやっていくべきではないかと思

Q 10月9日に、市長に小国地区復興プラン提案委員会から中間要望書が提出されましたが、これについての対応と小国復興公社について予算面も含めて伺います。

Q 交流館の住民説明会資料の中で、施設に損害を与えた場合の質問に対し、「市の施設

であり、市が管理をお願いしているが、事故の内容により対応する」と記載され、住民から不安な声が聞かれます。市の考えを伺います。

A 市の施設ですので、総合賠償補償制度が活用できる

Q 地区交流館の予算計上で、人件費や事業費など分けて計上していたが、一括計上するの

A 交付金の中に人件費も事業費も含まれます。また、

交付金の算定方法は、基礎的部分と人口に応じた変動部分を合わせたかたちで検討中です。

目的共同利用施設条例を廃止しました。

●伊達市保育の実施に関する条例を廃止する条例

これまで条例で定めていた保育所における保育の実施基準が、子ども・子育て支援法の定める基準となるため、伊達市保育の実施に関する条例を廃止しました。

●伊達市立幼稚園管理条例を廃止する条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い、これまで条例で定めていた園児の入園資格などは規則で定め、保育料については新たに制定する伊達市立幼稚園保育料条例で定めるため、伊達市立幼稚園管理条例を廃止しました。

補正予算

●平成26年度伊達市一般会計補正予算(第5号)

5億4041万5千円を増額し、予算総額を367億6361万3千円としました。

補正予算の主なものは、健康ポイント等予防事業の効果を検証する経費として健康都市推進事業1億4884万2千円、相馬福島道路の開通に向け、工業団地の開発計画基本構想を策定する企業誘致推進事業839万2千円、ふくしまステーションシンカンペーの開催に伴い、観光誘客促進経費を増額し関連事業へ1216万9千円、その他放射能対策事業として、水田に塩化カリウムを散布する経費や作付けを再開する水田の修復経費などを補助する農地等除染対策事業1億3145万円などを計上しました。

●平成26年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

高額療養費及び療養費などの見込み増による保険給付費、並びに前年度補助金の精算にかかる返還金など5816万円を増額し、予算総額を76億3859万9千円としました。

●平成26年度伊達市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

給与条例改正に伴う人件費20万9千円を増額し、予算総額を6億627万1千円としました。

■新年度に向けた自治組織のスタートについて



八巻 善一 議員

で、人件費という設定はしないという理解でいいのか伺います。

A

上保原は2人いるわけですが、館長の謝礼金は月5万円ほどです。1人は常勤で市がお願いしています。これからは、常勤は採用しないで、地域の人たちが交替で行い、その分を他のものに使うこともできるようにするということです。

伊達市の人口減少対策について

Q

人口減少対策についての企業誘致と優遇策について

伺います。

A

本年度から、雇用促進奨励金制度として、伊達市民を1年以上雇用し、定額の設備投資した企業に一人当たり50万円を3年間交付する準備をしています。また、自動車関連企業が保原工業団地に進出することが決定し、操業開始は平成27年1月、雇用計画は平成26年度50人、平成27年度10人、平成28年度10人、合わせて70人を雇用する計画があると聞いております。

■行財政改革の取り組みについて



半澤 隆 議員

は、平成21年度以降赤字でないのが該当はありません。実質公債費比率は平成21年度14・6%、25年度8・3%、将来負担比率は平成21年度125・7%、25年度40・6%と改善しております。今後也將来に向けて、しっかりとコミュニケーションをしていきたいと考えています。

Q

職員の資質・能力向上の取り組みについて伺います。

A

職場の業務改善推進事業、自治研修センター、福島県などへの派遣研修、施策提案プロジェクトの取り組みなどを

行っています。

Q

もう少し、市民の目線に立った取り組みが必要ではないか伺います。

A

施策提案の発表会など、市民の皆様にはPRしていきたいと思っています。

Q

超過勤務の状況と、今後の対応について伺います。

A

震災の復興などで時間外勤務が増えており、平成25年度超過勤務手当は、1億3029万3千円になっています。今後の改善策として、適正な職員の配置、部門間の応援体制の強化、職員の意識改革、特に健康管理も含めて縮減策に取り組んでいきます。

●平成26年度伊達市介護保険特別会計補正予算(第2号)

給与条例改正に伴う人件費、及び介護保険制度改正に伴うシステム改修費など1109万6千円を増額し、予算総額を64億4231万2千円としました。

●平成26年度伊達市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

給与条例改正に伴う人件費、及び消費税支払額など728万8千円を増額し、予算総額を10億3396万4千円としました。

●平成26年度伊達市水道事業会計補正予算(第2号)

給与条例改正に伴う人件費の増額により、収益的支出を98万4千円増額し、補正後の額を20億4774万8千円としました。また、資本的支出を30万4千円増額し、補正後の額を10億1842万9千円としました。

■人事

●人権擁護委員候補者の推薦意見

人権擁護委員の任期満了に伴い、法務大臣に人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、適任であることに決しました。

福地 アイ子さん(伊達市保原町)

■専決処分

●工事請負変更契約の締結

梁川屋内運動場建築工事において、地盤改良工事が必要となり、契約金額を変更することとなった専決処分の報告について、承認しました。平成26年11月18日専決処分。

●平成26年度伊達市一般会計補正予算(第4号)

第47回衆議院議員総選挙執行経費として2712万4千円を増額する専決処分の報告について、承認しました。平成26年11月21日専決処分。

■その他

●損害賠償の額の決定

道路管理に起因する事故による損害を、賠償するこ

■側溝除染、市の責任は



高橋 一由 議員

Q 市民からの情報により側溝除染の未施行が発覚。市は調査委員会を設置し調査を終了、刑事訴追や告発には至っていませんが、調査費用の1000万円は業者に請求すべきとしている

件。また、契約では完了届後2週間で検査を実施し、問題が無ければ1カ月以内に支払うこととなっている条項に基づき、既に支払ってしまっている問題。さらに、市が行った記者会見の内容が事実と異なるとして、請け負った組合から「抗議文」が出されるなど、前代未聞の状況について、市の責任も含め、市長の見解を伺います。

うに聞こえる質問に対しては、心外であると申し上げたい。

伊達認定こども園予定地は

Q 市は、伊達認定こども園の建設を福島市に近い中道地区に予定していますが、今後の少子化に伴う統合問題や利用者の利便性に配慮した位置とすべきと考えますが、予定地を定めた経過とさらなる判断について伺います。

とを可決しました。

●伊達市道路線の廃止及び認定
市道塚畑一本杉線の先、民間開発整備に伴い、終点が変更となるため塚畑一本杉線を廃止し、新たに塚畑荒町線を認定しました。

また、寄付採納に伴い、新たに寺前3号線を認定しました。

●指定管理者の指定
「保原総合公園(伊達市保原歴史文化資料館を除く)」及び「伊達市社会体育施設」について、一般財団法人伊達市スポーツ振興公社を指定管理者として指定することを可決しました。

また、「掛田まちなかサロン」について、特定非営利活動法人りょうぜん楽しもう会を指定管理者として指定することを可決しました。

●土地の取得について
保原、梁川の各学校給食センターの老朽化に伴い、新たに統合して新築する保原学校給食センターの建設用地を取得することを可決しました。

■子どものためのリフレッシュ事業



丹治千代子 議員

Q 10月25日、伊達地区PTシユ事業実行委員会とリフレッシュ事業の主催で「子どものためのリフレッシュ事業」が行われました。伊達市、桑折町、国見町の小・中学生と保護者に、

9月中旬に第1次の案内が配布されました。案内には、1、自衛隊東北方面音楽隊による演奏。2、自衛隊所有の車両展示。装甲車両など数台、写真撮影可能、一部車両に試乗可能。3、DVD鑑賞、東日本大震災救助活動など。4、炊き出し、すいとん汁1500食。と書いてありました。この案内をもらった保護者や教職員の方々から「この内容は子どものためのリフレッシュ事業ではない。自衛隊のPR活動ではないのか。ぜひ中止させてください」という声が寄

せられました。そこで、私と共産党市議団が中心となって「考える会」をつくり、教育長や教育委員の方々に面会し、「申し入れ書」を手渡ししました。結果、自衛隊車両展示はなくなりましたが、それ以外は第1次案内のとおりを実施されました。教育委員会として、私たちの申し入れに対して、どのように対処されたのか伺います。

●伊達市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
福島県人事委員会による職員の給与に関する勧告の内容を踏まえ、議員の期末手当支給割合を引き上げるため、所要の改正を行いました。

●委員会発議(意見書)
12月定例会で可決した次の意見書を関係大臣に送りました。

●国に対し「東日本大震災の被災者に対する援助のための日本司法支援センターの業務の特例に関する法律」の有効期限を延長する立法措置を求める意見書

■元気で生き生きと暮らせる地域づくり



佐藤 直毅 議員

A 各地区の身近な集会所などにおいて、6カ月間、基本運動や楽しむ運動を行いながら、健康増進や介護予防、元気で生き生きと暮らせる地域づくり、そして最終的には医療費の削減につなげたいという目標で行っております。

Q モデル事業は現在5地区で行われ、平成27年度からは市内全域に広げていく予定となっています。どのような体制になりますか。

Q 来年度は、22地区ぐらい増やしていきたいと考えております。今は職員が4人体制でやっておりますが、順次コーディネートターの30日研修を受けていただき、最終的には職員8人の体制で、今後いろいろと展開していきたいと考えております。

Q この9月から、市内の5地区で元氣づくりシステムモデル事業が行われております。先日、保原町の柏町元氣づくり会に参加をしてまいりましたが、この事業の概要について伺います。

A 事業は6カ月間というところでですが、終了後はどのように考えていますか。

Q 6カ月間は、コーディネートターが皆さんと一緒に運動をしながら指導してまいります。同時に地区の中で元氣リー

■市民ホール建設を問う



菊地 邦夫 議員

達市民の文化と心をひとつにするためにも、一日も早い建設を望む市民の声も高まっております。その後の検討経過について伺います。

A 基本構想を受け、それをどのようにしていくかというところで、内部調査を重ねてきました。その中で、今後の人口減少社会の多様な課題や国のかたちとして、地方中枢拠点都市構想などが出まして、その中の市町村間の連携、協力などの制度もでき、そのようなものも視野に入れなが

Q 伊達市市民ホール建設検討委員会が設置され、建設基本構想が答申され、劇場型1300人収容の市民ホール建設の具体化が進みましたが、その後、遅々として進んでおりません。伊

Q 建設基本構想を踏まえたうえで、次のステップに進むということでしょうか。

A 基本構想を踏まえて、実際に向けての調査、検討をしているところですが、現状においては課題が非常に多いという認識で、今その課題をいろいろ整理しております。

みなさんからの請願・陳情

12月定例会で受理したのは、請願4件、陳情2件の合計6件でした。

所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決しました。

採決の結果	請 願 件 名	請 願 者
趣旨採択 (産業建設常任委員会)	上保原小学校から阿武隈急行上保原駅までの区間の市道3115号線に、ガードフェンス設置に関する請願書	〒960-06 伊達市保原町上保原字流町 代表 交通安全協会上保原分会 分会長 片平博行 ほか3人
趣旨採択 (総務生活常任委員会)	「九州電力川内原発1、2号機再稼働反対を求める意見書」の提出を求める請願書	〒960-06 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野辰夫
趣旨採択 (文教福祉常任委員会)	「19歳以上の甲状腺に係る医療費の無料化に関する意見書」の提出を求める請願書	〒960-06 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野辰夫
不採択 (総務生活常任委員会)	「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化しないことを国に求める意見書の提出」を求める請願書	〒960-07 伊達市梁川町細谷字花立 新日本婦人の会伊達支部 代表 堀江ミヨ子

議員定数等議会改革特別委員会

次期選挙から議員定数を22名とすることを中間報告



安藤喜昭議長に中間報告書を提出する大橋良一委員長（中央）と佐藤直毅副委員長（右）

議員定数及び議員報酬などに関することを調査検討する議員定数等議会改革特別委員会（大橋良一委員長）は、平成26年11月25日、次期伊達市議会議員一般選挙から議員の定数を22名とすることを示した中間報告書を安藤喜昭議長に提出しました。

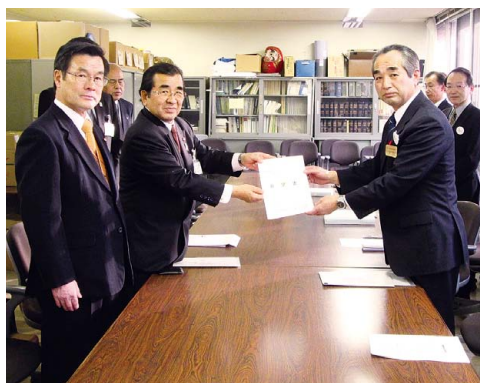
報告書では、理由として「平成25年9月の議会議員定数に関する特別委員会（以下「前特別委員会」という。）の報告どおり22名が適当ではないかという意見が多数を占めたが、平成26年4月の市議会議員一般選挙において法定得票数を得た候補者が定数の26名に満たず、1名の

欠員を生じた状況に鑑み、20名という意見もあった。一方で、これ以上議員定数を削減すれば市民の声が市政に届かなくなる不安があるとして、現状維持という意見もあった。現在、市議会では前特別委員会の報告どおり、従来の部門別4常任委員会を3常任委員会に再編し、さらに、全議員による充実した審議の場として予算決算常任委員会を設置するとともに、地域課題を議会全体として共有するために政策討論会を実施するなど、議会改革にも取り組んでいる。結果として、市民の負託に応えられる議会を目指し、今後も議会活性化を推進するためには、常任委員会として討議できる議員数を確保し、多様な意見も反映しつつ、効率的な議会運営を行うため、議員定数は22名が適当であるとの結論に至った。」としています。

また、12月議会定例会においても中間報告（第1次）として報告されました。

なお、議員定数に関する市民の皆様との意見交換を2月19日（木）午後7時より、保原中央交流館において開催します。ぜひご参加いただき、市民の皆様のご意見をお聞かせください。詳しい日程につきましては、12ページをご覧ください。

全国植樹祭サテライト会場招致を要望



農林水産部長に要望書を手渡す仁志田昇司市長と安藤喜昭議長

平成26年12月10日、安藤喜昭議長は、仁志田昇司市長とともに県庁を訪れ、平成30年に南相馬市をメイン会場に開催される「第69回全国植樹祭」のサテライト会場として、伊達市霊山地域（霊山こどもの村周辺）を選定されるよう要望しました。伊達市霊山地域は、豊かな緑に囲まれ、震災復興と放射能に向き合い復興から再生へと進む福島県を象徴する地域であり、福島県の森林再生と緑豊かなふるさと再生を進める全国植樹祭のサテライト会場として最適だと訴えました。席上、福島県農林水産部農林行部長に要望書を手渡しました。

サテライト会場では、全国植樹祭当日に参加者による植樹活動や大型スクリーンによる同時中継、アトラクション、展示、県産品の販売などが予定されています。

3月定例議会の予定

○2月26日（木）午前10時に招集される予定です。伊達市議場（伊達市役所保原本庁 議会棟3階）
※なお、詳しい審議日程は、議会運営委員会で決まります。【電話 024-575-1217】

採決の結果	陳情件名	陳情者
採択 (総務生活常任委員会)	国に対し「東日本大震災の被災者に対する援助のための日本司法支援センターの業務の特例に関する法律」の有効期限を延長する立法措置を求める意見書の提出を求める陳情	〒960-81 福島市山下町 福島県弁護士会 会長 笠間 善裕
趣旨採択 (総務生活常任委員会)	個人通報制度の実現を求める意見書の採択についての陳情書	〒960-81 福島市山下町 福島県弁護士会 会長 笠間 善裕

研修報告

総務生活常任委員会

平成26年10月14日から16日までの3日間の日程で兵庫県相生市、岡山市、倉敷市、兵庫県神戸市の視察研修を行いました。相生市では、空き家問題について視察しました。戦前より、播磨造船所（現㈱IHI）による社宅の建設が盛んでしたが、次第に造船業に陰りが見え始め、現在では社宅居住者の高齢化や死亡による空き家が増え、行政による対応が平成21年から始まったとの説明を受けました。条例改正により、空き家の適正管理や勧告や斡旋を行い、また、空地空家連絡会議を開き、市民からの相談を受け、解決を図る対策が行われています。



兵庫県相生市役所

倉敷市では、総務省が進める地方中枢拠点都市を核とする市町村の枠を超えた広域連携のモデル事業について視察しました。

最後に、神戸市において「人と防災未来センター」を視察しました。阪神大震災の甚大な被害とそれから立ち上り、復興へ向かっていった姿を見ることができ、今後の本市の復興を考える上でも大変参考になりました。有意義な視察となりました。

文教福祉常任委員会

平成26年10月7日に大分県大分市の「健康推進員地域活動事業について」、10月8日は大分県豊後高田市の「学びの21世紀塾事業について」を研修してきました。

大分市の健康推進員地域活動事業は、高齢化の進行や生活習慣病の増加が問題となる中、市民一人ひとりが健康的な生活習慣を確立するため、地域に根ざした制度として平成20年7月にスタートしました。各自治区から1人の推薦を受け、任期2年で市長が委嘱するもので、報酬費は年1万円となっています。平成26年度には651人が配置され、市民に特定健診を受診するよう声をかけるなど特定健診の受診率向上に貢献しており、平成20年度で28・8%だった受診率が平成24年度には35・6%に向上しています。さらに、担当保健師と連携し、地域で健康づくり研修会なども行っています。



大分県豊後高田市役所

豊後高田市の「学びの21世紀塾」は、先進的な教育のまちづくりとして注目されている事業であり、未来を拓く人材育成のための児童生徒の「学び」を第一に考え、学校教育の充実や学校環境の整備を基盤として、子どもたちに「教育の機会」を平等に提供し、あらゆる格差をなくしていくことを目的に、平成14年度から開塾されました。学びや伸びる実感を持たせ、まちを誇りに思う子どもを育成するため、年々事業を充実させており、地域、保護者、行政、学校などが一体となつて取り組むことで、豊かな心の育成と学力・体力の向上に大きな成果をあげています。

委員会視察

産業建設常任委員会

平成26年10月27日、28日の日程で大阪府茨木市「産業振興」アクションプランについて、兵庫県朝来市「竹田城跡をはじめとする観光への取り組みについて」の視察研修を行いました。

茨木市は大阪府北部に位置し、北は京都府、東は高槻市、南は摂津市、西は吹田市に接し、交通の利便性がさぶる高く、市内には日立マクセル・日世・神戸製鋼所・大日本住友製薬などが立地し、主な産業振興施策は、商店街の施設整備等補助・個人向け110万円まで援助する創業促進事業、設備投資に対する資金を援助する企業立地促進事業、産業活性化プロジェクト促進事業（提案公募補助）などがあり、「ビジネス交流会」「プロジェクト創出会議」「にぎわいづくり連絡会議」があり、好評を得て事業者の交流の一助になっています。

兵庫県朝来市の竹田城跡は天空の城と呼ばれ、雲海の時期になると、土日、祝日の朝



兵庫県朝来市竹田城跡をはじめとする観光への取り組み

議会運営委員会

平成26年11月6日から7日の日程により新潟県上越市、長野県松本市を視察研修してまいりました。

6日は上越市の「議会改革について」視察を実施しました。議会基本条例制定後の議会情報の公開方法、議会報告会の運営、政策形成

会議などを中心に研修を行いました。市民の意見を市政に反映させる取り組みとして、議会報告会にて聴取した市民の意見を、広報広聴委員会で課題整理を行った後に、分野別に各委員会にて調査研究を行い、政策立案及び政策提言が必要となるものについては政策形成会議により検討し、執行部への提言、条例制定というかたちで、市民の意見を市政へ反映させる仕組みをつくっていました。

7日は松本市の「議会活性化の取り組みについて」視察を実施しました。議会活性化の取り組みとして、4つの常任委員会の任期を1年として、4年間ですべての委員会



長野県松本市議会

を経験できるようになっています。また各委員会では1つのテーマを決め、任期1年間で研究検討を行い、それを取りまとめ、全議員による政策討論会で議論を深め、認められたものは政策提言として市長へ提言することとしています。

伊達市議会では議員間の議論を活発にさせ政策立案につなげるため、政策討論会が動き始めたところです。両市の取り組みについて大変参考となる視察となりました。

議員定数に関する意見交換会を開催

議員定数に関して、市民の皆さんと意見交換を行うため、右記の日程により意見交換会を開催します。ぜひ皆さんのご参加をお願いいたします。(関連記事9ページに掲載)

開催日時	会場
平成27年2月19日(木) 午後7時	保原中央交流館 3階 大会議室

議会広報特別委員会

平成26年11月10日、11日の2日間の日程で栃木県宇都宮市、千葉県流山市の視察研修を行いました。宇都宮市では、副市長の歓迎を受け議会事務局より丁寧な説明を受けました。平成26年度、中核市議会議長会議会報コンクールで最優秀賞を受賞しており、委員からも活発な質問がありました。

議会だよりは、表題を「あな」と市議会」としており、40年前の発刊当時からこの名称を使っているとのことでした。他に、配色や文字の大きさについては、「ユニバーサルデザイン文書マニュアル」に基づき、読みやすい紙面づくりをされていました。また、市民からメールにより、質問や意見を出してもらい、それに議会だよりなどで回答するという制度があり、大いに参考になりました。

2日目の流山市では、主に「ICTによる議会広報」について、議員による説明を受けました。流山市議会は、平成26年日本経済新聞社による議会改革ランキングで全国5位になっていることから、活発な質疑応答がなされました。

まず、市議会ホームページ



千葉県流山市議会

はNTT-ATや早稲田大学との共同研究により、専門知識がなくても、編集が行われるシステムを開発し、市民からも非常に見やすくなったとの評価を得ています。他に、ユーストリームによる委員会中継やツイスターやフェイスブックなどのSNSを活用した広報活動などの説明を受け、ICTでは日本で一番の先進事例なので、大変参考になりました。

■用語の解説

※1【ICT】 情報通信技術
※2【SNS】 インターネット上の交流を通して社会的ネットワーク(ソーシャル・ネットワーク)を構築するサービス

12月定例会賛否一覧表

※これ以外の案件は全会一致で可決されています。

議席番号 議員名		議案等	
1 近藤 眞一	賛成	議案第157号 専決処分の承認について (梁川屋内運動場建築工事請負変更契約)	賛成○、反対●、欠席／
2 橋 典雄	賛成	請願第9号 上保原小学校から阿武隈急行上保原駅までの区間の市道3115号線に、ガードフェンス設置に関する請願書	賛成○、反対●、欠席／
3 佐藤 清壽	賛成	請願第12号 「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化しないことを国に求める意見書の提出」を求める請願書	賛成○、反対●、欠席／
4 菅野 喜明	賛成		賛成○、反対●、欠席／
5 佐藤 直毅	賛成		賛成○、反対●、欠席／
6 丹治千代子	賛成		賛成○、反対●、欠席／
7 大和田俊一郎	賛成		賛成○、反対●、欠席／
8 菊地 邦夫	賛成		賛成○、反対●、欠席／
9 佐々木 彰	賛成		賛成○、反対●、欠席／
10 小野 誠滋	賛成		賛成○、反対●、欠席／
11 佐藤 実	賛成		賛成○、反対●、欠席／
12 大條 一郎	賛成		賛成○、反対●、欠席／
13 菅野與志昭	賛成		賛成○、反対●、欠席／
14 中村 正明	賛成		賛成○、反対●、欠席／
15 高橋 一由	賛成		賛成○、反対●、欠席／
16 熊田 昭次	賛成		賛成○、反対●、欠席／
17 清野 公治	賛成		賛成○、反対●、欠席／
18 原田 建夫	賛成		賛成○、反対●、欠席／
19 半澤 隆	賛成		賛成○、反対●、欠席／
20 八巻 善一	賛成		賛成○、反対●、欠席／
21 松本 善平	賛成		賛成○、反対●、欠席／
22 吉田 一政	賛成		賛成○、反対●、欠席／
23 滝澤 福吉	賛成		賛成○、反対●、欠席／
24 大橋 良一	賛成		賛成○、反対●、欠席／
25 安藤 喜昭	賛成		賛成○、反対●、欠席／
議決結果	賛成19：反対4	議長は採決に加わらない	賛成3：反対20
趣旨採択	賛成20：反対3		
不採択	賛成3：反対20		

※請願第9号「上保原小学校から阿武隈急行上保原駅までの区間の市道3115号線に、ガードフェンス設置に関する請願書」の採決については、産業建設常任委員会審査結果の「趣旨採択」について、趣旨採択では不十分であり、「採択」すべきものであるとの質疑、討論の結果、「趣旨採択」に賛成する議員20人、趣旨採択では不十分であり、「採択」すべきとして「趣旨採択」に反対3人という結果です。

編集後記

新しい年を健やかに楽しく迎えられたこととお喜び申し上げます。今年の干支は乙未(きのとひつじ)。乙(きの)はさまざまな障害にも、それに屈せず弾力的に雄々しくやっついていくことを意味し、未(ひつじ)は上の短い「一」と木「木」から成っていて、「一」は木の上層、つまり枝葉の繁栄・繁茂を表すことから今年もさらに復興再生に向け、取り組む年といえます。

伊達市議会では、昨年12月から政策討論会で、熱心に議論がはじまりました。議会報告会での貴重なご意見をかたちにする取り組みです。市民の皆さんの目線が第一の姿勢で臨んでまいります。

(実)

議会広報委員会	
委員長	大條 一郎
副委員長	菅野 喜明
委員	中村 正明
委員	佐藤 実
委員	佐々木 彰
委員	直毅